

令和7年度保健師研修会 開催報告

- 1 日 時：令和7年9月27日（土）13:45～16:30
- 2 会 場：いわて県民情報交流センター アイーナ5階 501会議室
- 3 参加者：23名
- 4 内 容

テーマ「次世代につなごう いわての保健師活動」

第1部 講演「ケアのためのエネルギーチャージ セルフ・コンパッション」

講師：学校法人武蔵野大学 ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科 学科長/教授 秋山美紀氏

第2部 保健師活動実践報告「大船渡の母子保健～こどもまんなかのまちを目指して～」

大船渡市保健福祉部 こども家庭センター所長補佐 佐藤由美子氏

この研修会では、看護職がより質の高い看護を提供するためには、まず自身が健康で楽しくあることが重要であるという視点から、ウェルビーイングの向上について楽しく話を伺いました。職場の幸せの基盤となるものは、P (Purpose: 目的)、E (Engagement: やりがい)、R (Resilience: 困難を乗り越える力)、K (Kindness: 親切心) の4つの要素です。また、「思いやり」にはエンパシーとコンパッションがあり、職場にコンパッションを根付かせるためには、気づく・理解する・感じる・行動することが必要であると学びました。とても分かりやすく、自分の心に向き合うことの大切さを実感し、ぜひ実践していきたいと思いました。

第2部では大船渡市の母子保健について、地域に寄り添った活動を聴くことができ、有意義な時間となりました。

